

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島祇園校		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年1月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員全員で、個々の支援内容や活動プログラムの理解と共有を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 連携環境の設定の不十分 連携方法や連携後の支援への活かし方の検討 事業所としての意識づけの不十分さ 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な連携を全員でおこなっていき、連携がとりやすい状態をつくる。 事業所として、職員への意識づけと環境の設定を行っていく
2	職員全員でお子さんを見るという意識があるところ	校舎全体の様子が見えるような支援スタイルであるため、担当以外の利用者さんの動きにも気を配ることができる。専門的支援実施においても、複数の職員で対応できるようにしている	定期的に一担当指導員を変更することで、指導員がどの利用者さんの療育にも携われるような機会を作り、アットホームな事業所にしていく
3	お子様一人ひとりの体調や状況に合わせて療育の内容を変更したり、ペースをゆっくりにしたりと調整しながら進められる点	お子様一人ひとりのその日の体調や様子について話すことを通して確認し、お子様の状況に合わせて相談をしながら支援を進めるようにしています	引き続き、お子様一人一人の様子を観察しながら関わることを意識し、小さな変化にも気づいて対応できるよう心掛けていきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域や病院、関係機関との連携の不十分さ	<ul style="list-style-type: none"> 連携環境の設定の不十分。 連携方法や連携後の支援への活かし方の検討。 事業所としての意識づけの不十分さ。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な連携を全員でおこなっていき、連携がとりやすい状態をつくります 事業所として、職員への意識づけと環境の設定を行っていきます
2	保護者支援が充実していない	保護者向けイベントの開催が不定期で、参加しにくい状況があります	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から話や悩みを聞くための面談の機会を設けます。 保護者向けイベントの年間計画を作成し、事前にお知らせして参加しやすいように工夫します 保護者にアンケートを実施し、保護者向けイベントの希望テーマ等の聞き取りをしてイベントに反映できるようにします
3	大きな部屋をパーティションで区切り、最大同時4支援行っている。 お子様によっては職員や他児の声や、音のなるおもちゃの音が気になってしまうことがある点。	大きな部屋をパーティションで区切って支援ブースを作っているため。	<ul style="list-style-type: none"> 小集団支援希望の方と同じ時間への案内 お子様の特性によって支援時間を工夫し、出来る限り支援の時間帯を分散させることで、集中して支援を受けられるように環境設定を行います

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「クラ・ゼミ」広島祇園校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

45

回収数

36

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	2	0	0	いつも楽しそうな遊び場を作ってくれています。	今後も事故につながらないように十分な配慮をし、楽しい場をご提供いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	0	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていませんか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	3	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	2	0	0	子どもの苦手なことや親が不安に想っていることを重点的に支援してもらえています。	ありがとうございます。気になる点がございましたら、いつでもご相談ください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	7		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	3	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	0	0	4	子どもの特性に合わせて、少しずつ成功体験を積み重ねていただき、自信につなげていただいています。	今後も楽しく自信につながるような支援を工夫し、ご提供させていただきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	0	0	5		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	1	0	2	季節のイベントなどあり、子どもも楽しそうに通っています。	今後も楽しめるイベントを企画いたします。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12	2	13	9		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	1	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	3	2	3		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	8	11		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	34	2	0	0	毎回、支援の様子やできたことなどをしっかりと伝えてくれます。	今後も丁寧なフィードバックを心がけます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	9	5	2	不安に思っていることなど、対応してもらって助かっています。	ありがとうございます。気になる点がございましたら、いつでもご相談ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	5	12	12		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	4	1	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	4	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	1	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	4	0	10		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	3	1	16		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	0	0	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	2	0	5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36	0	0	0	母子分離ができなかったが、今ではできるようになりました。	ありがとうございます。今後も安心できる場をご提供させていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	36	0	0	0	いつも楽しみに待っています。	ありがとうございます。今後も利用様が楽しく通っていただけるように、工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	2	0	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島祇園校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	利用者様の人数や特性に合わせて、パーテーションの配置を変えて対応しています。	音(声)の面では課題があり、聴覚過敏の児童に対する配慮を考えていく必要があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	パーテーションを使用し、視覚刺激を減らしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	支援終わりに掃除と消毒を欠かさずに行っています。	常に清潔に保てるようにしていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	面談室をクールダウンのために使用し、小集団時はクールダウンのスペースを作っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	ホワイトボードやスプレッドシートを使用し、目標と振り返りをしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価表に職員全員が目を通し、話し合う場を設けています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝礼、終礼や日々の会話の中で情報や意見を交換し、改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	毎年、内部監査を実施しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月に数回ある社内研修に参加しています。	学ぶ機会を大切に、職員全員の質の向上を目指していきます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	個別支援計画に基づいたプログラムを作成し、フィードバック時などに保護者様へお伝えしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	定期的に保護者様と話し合いを行いながら計画を立てています。	話しやすい環境を設定していき、相談の機会を増やしていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		随時確認していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	必要な教材を使用し、支援を行っています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	活動プログラムを職員で相談し、支援を行っています。	常に情報を共有していきます。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	固定化させず、活動プログラムに少しずつ、変化をもたらしています。	職員間で話し合いを行い、楽しく活動できるプログラムを考えていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	イベント時、リトミック、就学前準備など、目的に合わせた小集団活動をご提供しています。	小集団支援の質の向上を目指していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼で1日の流れや特異事項を共有しています。	情報共有の徹底をしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼で1日の振り返りを行い、情報共有をしています。	情報共有の徹底をしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援記録を欠かさず入力し、次の支援プログラム構成へとつなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	スケジュールに基づいてモニタリングをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	担当指導員と児発管が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		小学校との連携を強化していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	療育センターに行き、研修等、必要な助言等を受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	FB時に支援状況を伝えるとともに、日頃の様子について保護者様から情報をいただいています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約の際にご説明させていただいています。	どの職員でも説明できるようにしていきます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	専門用語など分かりやすい言葉に置き換え、内容を理解してもらった上で同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	FB時に保護者様からの意見や悩みが発信されやすいように、指導員側から声掛けをしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		交流できる場を設けていけるようにしていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	児発管、管理者が対応し、周知しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		ブログを配信した際にはお知らせいたします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	書類等や利用者様のお名前が書かれているものは、鍵付きロッカーに保管しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	イベントを通して、地域の方の参加を進めており、ご家族の方にも参加していただいています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアルは入口に設置しており、誰でも閲覧できるようにしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを作成しており、定期的に研修、訓練の実施をしています。	実際に災害が起きた際には安全面を考慮し、速やかに行動できるようにします。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に確認するだけでなく、保護者様と常に情報共有することで最新の情報を把握するようにしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	毎月ヒヤリハットを作成しており、内容を職員間で共有し、再発防止について検討しています。	話し合いで危険である箇所や場面を想定し、事前に事故を防ぎます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止の研修を実施しており、内容を議事録に残しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	契約の際に身体拘束について、説明をしています。		